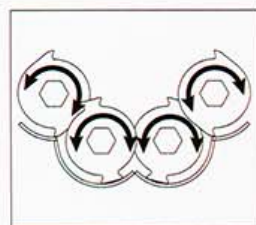


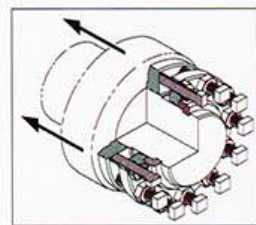
ホッパー

ラム装備ホッパー（特許取得済み）など用途に合わせた投入ホッパーを選択できます。



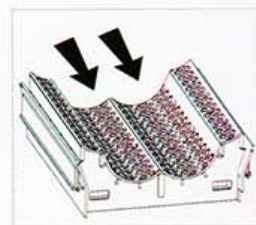
自己洗浄設計

上下シャフトやスクリーンとシャフトの間で相互スワイプ作用をもたせた設計にしてあるため破碎材の堆積が最小限に抑えられます。



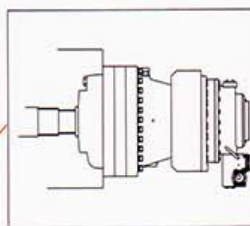
特許取得設計の ACLS™ 構造

ACLS（カッター・ロックング・システム）はカッタースタックの締め付けが確実に維持できる構造です。これにより、保守の頻度が低減し、カッター寿命が延びます。



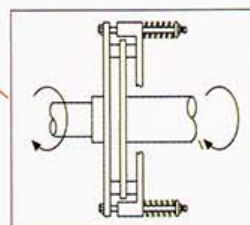
着脱可能なスクリーン

スライド方式を採用し、破碎後の希望寸法に合わせてスクリーンを簡単に交換できる構造です。



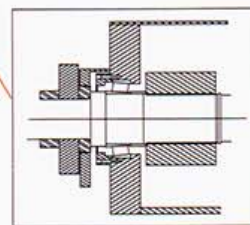
多様な駆動方法に対応

電動、油圧駆動、スマートドライブ™ など用途に合わせて選択できます。



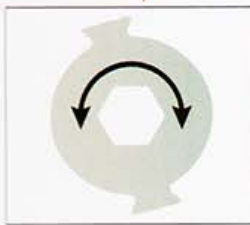
特許取得設計の SSP™ 構造（電動型のみ）

SSP（対衝撃保護）装置は、カッターシャフトが瞬間停止してしまうような場合でも電動機に損傷が及ばないように保護します。



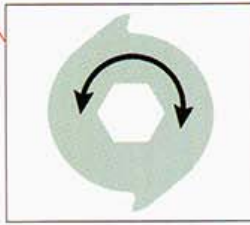
軸受およびシール保護

従来方式のシールとラビリンスシールを組み合わせた独自設計による「多重バリア」システムで軸受の汚れを防止します。



下カッター

双方向対応型のカッター形状で方向を問わずに破碎処理できます。リョーシンの QUAD なら無駄のない生産性を確保します。



上カッター

とがりが付いたカッターを使用し破碎片の再循環を容易にすると同時に、カッターシャフトの一回転で切断回数が増えるような設計にしています。切断回数が多いほど処理量が増えます。